

# 学校長通信 No.3

## 日根野高校の普通科専門コース制とは

---

今の子ども達が生きていく近未来の産業社会構造は、製造業による外貨獲得・雇用確保からサービス業による外貨獲得・雇用確保へと大きくシフトしていくものと思われます。つまり「ものづくり主力の社会」から「おもてなしも主力の社会」への転換、言い換えますと「男型社会」から「男も女も仕事と家庭型社会」へのパラダイムシフトと言えます。そんな中、今後急速に拡大していくと思われる産業は

- \* 高齢者向けサービス産業（医療とヘルスケア、資産管理相談、法律相談、文化・エンタメ系等）
- \* 児童保育・教育産業（非正規雇用制度の定着と労働賃金の長期低迷による夫婦共稼ぎ世帯の増加、それを担保する児童保育・教育問題解消のためのサービス）
- \* 観光サービス産業（特に外国人観光客向け、富裕層・高齢者向けサービス）
- \* サブカルチャー産業（まんがアニメ、イラスト、アート、ファッション、ゲームなど若者向けサービス）
- \* ロジスティクス産業（調達・保管・販売・物流のIT技術による統合システムサービス）

これらの有望産業群をこれからの男女参画型社会という視点で眺めると、とてもウーマンフレンドリーな世界と言えます。お父さんの稼ぎだけで一家が生活するのがリスク過ぎる時代、女性の社会進出とは女性管理者数の問題であるだけでなく、子育てしながら働き稼ぐ女性の正規雇用者数という文脈で語られるべきだと考えます。

日根野高校が定義する普通科専門コース制は、このような産業群への就労を具体的に見通した学校選択・進路指導をもうひとつの価値観とします（子どもみらいコース、医療メディカルコース）。従来の価値観（国公立・難関私大合格）をアドバンスコースとし、世界を相手に活躍するグローバル人材の育成を狙うことは言うまでもありませんが、本校はもうひとつの価値観として、大多数の普通の生徒が「社会に出て普通に稼いできっちり地元へ貢献する大阪在住グローバル人材」の育成を掲げ、この二つの価値観両立を日根野高校普通科専門コース制の基本コンセプトにしたいと考えます。